| 科目ナンバリング | G-LAS00 80003 LJ20 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 研究倫理・研究公正（生命系）<br>Research Ethics and Integrity(Life Science) | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 国際高等教育院 特定教授 小柳 義夫<br>農学研究科 教授 宮川 恒<br>人間・環境学研究科 教授 船曳 康子<br>非常勤講師 北山 仁志 | | |
| 群 | 大学院共通科目群 | 分野(分類) | 社会適合 | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | | 単位数 | 0.5単位 | 時間数 | 7.5時間 | 授業形態 | 講義（メディア授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2025・<br>前期集中 | 曜時限 | 集中<br>6/15（土）2-4限、6/22（土）1-2限または3-4限 | 配当学年 | 大学院生 | 対象学生 | 理系向 |

**[授業の概要・目的]**

みずからの研究をこれから始める大学院生に責任ある行動をする研究者として身につけておくべき心構えを学ばせる。生命科学研究者として生命にどう向き合うか、研究者としての規範を保っていかに研究を進めるか、また研究成果の適切な発表方法など、研究倫理・研究公正を教示する。特に、科学研究における不正行為がいかに健全な科学の発展の妨げになるかを例示しつつ、データの正しい取扱い方と適正な研究成果の発表の仕方等を講義する。さらに、研究費の適切な使用と知的財産や利益相反について学ぶ。講義に加えて、グループワークとして、与えられた課題についてディスカッションを行う。

**[到達目標]**

第１講～第４講を通じて、生命科学系研究者としての責任ある行動とは何かを修得させる。生命を研究対象とするに際の倫理的な問題を理解するとともに、科学研究における不正行為の事例学習を通じて、誠実な研究活動を遂行する研究者の心得を身につけさせる。最後に研究倫理・研究公正についてのe-ラーニングコースの受講で理解度を確認する。

**[授業計画と内容]**

第１講　医学・生命科学に関連する倫理的問題（小柳、北山）
１．生命倫理
２．生命科学の成果の利用と問題
３．生命科学研究に関わる法令

第２講　研究実施段階に関連する倫理（小柳）
１．データの収集と管理－実験データの正しい取扱い方－
２．研究費の適正な使用
３．研究実施に関する不正行為
４．利益相反
５．科学研究における不正行為（典型的な不正）と好ましくない行為
６．研究不正事例紹介（ビデオ）

第３講　研究成果の発表に関連する倫理（小柳）
１．研究発表の重要性と論文執筆
２．知的財産の考え方（知的財産の保護と活用）
３．実験終了後のデータの取扱い（データの保存・公開・機密）
４．事例紹介（ビデオ）
５．全体のまとめ　研究公正に関するシンガポール宣言

研究倫理・研究公正（生命系）(2)へ続く↓↓↓

研究倫理・研究公正（生命系）(2)

第４講　グループワーク（小柳、宮川、船曳）
１．例示された課題についてグループ・ディスカッション
２．日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」の受講

**[履修要件]**

外国人留学生については、同時期に開講する英語科目、あるいは後期に開講する英語科目の履修を推奨します。

For international students, it is recommended that they take an English course offered at the same time or in the second semester.

**[成績評価の方法・観点]**

第１～４講の全出席と参加の状況と、講義内容に関するクイズ、日本学術振興会研究倫理eラーニングコースの修了を確認の上、成績評価を行う。成績評価は、合否の判定による。（授業の前に、eラーニングへの団体申し込みを行う（受講生に費用はかからない）。これについての詳細は、別途、履修者に連絡する。）

**[教科書]**

「科学の健全な発展のために― 誠実な科学者の心得―」日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会　丸善出版　ISBN978-4621089149　学術振興会のHP（https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf）より、テキスト版をダウンロード

**[参考書等]**

（参考書）
「科学者をめざす君たちへ―研究者の責任ある行動とは」米国科学アカデミー 編、池内 了 訳
化学同人　ISBN978-4759814286 「医学・生命科学の研究倫理ハンドブック」神里彩子、武藤香織、東京大学出版会　ISBN978-4130624138

**[授業外学修（予習・復習）等]**

復習として日本学術振興会「研究倫理ラーニングコース」を受講する。

**[その他（オフィスアワー等）]**

【メディア授業科目】
講義は６月１５日（土）２，３，４限にオンライン（Zoom）で実施する。グループワークは講義の翌週６月２２日（土）１，２限または３，４限にオンライン（Zoom）で実施する。オンライン講義と資料の配付はPandAを通じておこなう。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**